

# 知ってほしい いろいろな特性

## ～知的障害について～

毎年12月3日から12月9日までは「障害者週間」です。  
今回は知的障害について「川崎市育成会手をむすぶ親の会」から、お話いただきます。  
また、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」から結成されたキャラバン隊による「知的障害疑似体験」を通して、障害者理解の機会にできればと思います。

受講料

無料

- ① 12月6日(月) PM13:30～15:30
- ② 12月8日(水) PM13:30～15:30

※同内容2回開催です。どちららかをお選びください。  
※各定員25名(定員を超えた場合は抽選)

- 【講師】 川崎市育成会手をむすぶ親の会  
【対象】 川崎市内在住、在学、在勤の方  
【会場】 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら6F)研修室  
【申込】 ・QRコードから  
・川崎市福祉人材バンクホームページ内の申込フォームから  
**※定員を超えた場合は抽選になります**

①②各回共、研修の前半に川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター職員が川崎市の現状を説明いたします。

人材バンク  
キャラクター  
ホットン



 申込締切

11月19(金)17時まで

お申し込みはこちら



### 【お申込について】

- ※QRコード、またはホームページ内の申込フォームからお申込ください。
- ※申込時に受付完了のメールが届いているか必ず確認してください。メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますのでご注意ください。
- また、フォームからのお申込が難しい場合は別途ご連絡ください。
- ※締切後、抽選結果通知を郵送いたします。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員等が変更となることがあります。

## 【講師紹介】

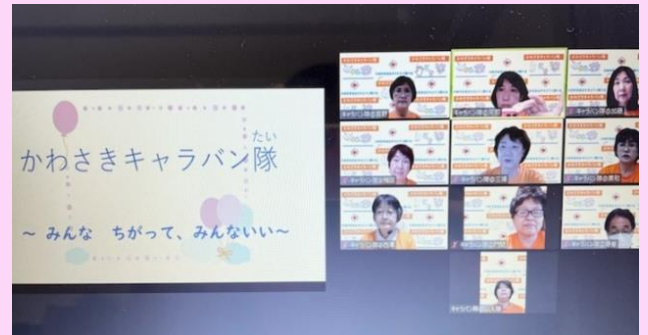


「川崎市育成会手をむすぶ親の会」は、知的障害を持つ家族のいる人の会です。全国に広がりつつある啓発活動に刺激を受け、私たちは、知的障害を持つ人のことを知ってほしい、地域の支援者が増えてほしいという思いから「かわさきキャラバン隊」を結成しました。

「かわさきキャラバン隊」は皆さまとともに知的障害疑似体験を通して“共に生きる社会”をめざしていきたいと思っております。

足が不自由な人の支援ツールは車椅子  
目の不自由な人の支援ツールは点字  
それでは、知的障害者の支援ツールは何でしょう？

ぜひ、皆様も知的障害疑似体験を通して、その答えを考えてみませんか？  
～みんな、ちがってみんないい～



## \* \* \* \* \* 障害者週間について \* \* \* \* \*

毎年12月3日から9日までは「障害者週間」です。障害者週間は、障害者があらゆる分野の活動に参加することを促進するために「障害者基本法」により設けられているものです。

川崎市社会福祉協議会の障害者団体部会では、この期間に障害や障害者に対する関心や理解を深めるための取組みを重点的に行っています。



駅で啓発オリジナルティッシュを配布  
※令和3年度は12月5日（土）実施

FMかわさきで  
広報啓発活動



研修開催後、内容の一部をHPで公開予定です。  
HPはこちらです



### 【申込・問合せ先】

(福) 川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5  
川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）5階  
TEL044-739-8726/FAX044-739-8740

<http://www.csw-kawasaki.or.jp/jinzai/>

